

## 序

職業訓練では、これまで映画、スライドなどの教育メディアがよく用いられてきた。最近では、それらが、VTRにとって代わり、またOHPなる一提示機器も利用されるようになってきた。このように、ハードウェアの利用状況は時と共に変化してきたが、もう一つ、特に最近重視されていることはその活用・運用技術である。

簡単な例をあげれば、やゝ物騒な話ではあるが、“ナイフ”は、果物の皮をむくなど有効に活用することができるが、逆に悪用することもできる。同じように一教育メディアについても、使い方によって効用が大きく変わり、適切に活用すれば、わかりやすい授業を展開することができる。つまり、当該の教育指導と教育メディアの双方の特性を把握し、教育効果を高めるようにメディアを活用していこうという技術は教育訓練における今日的課題といえるわけである。

この報告書では、このところ教育メディアとしてよく用いられるOHPをとりあげ、職業訓練におけるその活用技術をまとめている。訓練内容の精選や方法論の検討が重要な課題であることは勿論であるが、それに加え、実際の授業でOHPが使われる際により教育効果が高まることを狙いとして、関連のノウハウをのべている。この報告書が、職業訓練指導の改善に資することを期待すると共に、内容的にまた量的に未だ不完全であるので、関係の方々の暖かいご助言・ご批判を希望したい。

昭和63年3月

職業訓練研究センター・所長 多賀谷敏夫

## 0. 緒 言

OHPは、多人数教育で、教材を全員にわかりやすく提示するのによく用いられる。しかし、そこで提示する教材が内容として適切なものであっても、描写図や文字が小さすぎて一部の受講者にはほとんど見えなかったりするなど、提示方法や体裁に教育上不適切と思われる点を残しては、分りやすい授業を行ったことにはならない。

この報告書では、職業訓練において、その指導者が、OHPを使う際に事前に理解しておく都合と思われる事柄をまとめている。そこでは、OHPの利用者が必要と思われる部分だけ抜き出して読むことができよう、各タイトルはなるべく独立性を保つように工夫した。さらに、あえて仕様書風にまたノウハウ的にまとめた。

このようなわけで、これは通常の研究報告の体裁は整えていないので、その点予めお断りしておきたい。

尚、この報告書は、部分的に、のちの文献1)に負うところが大きい。職業指導の視点からとりまとめたわけであるが、もしOHPと関連機器のごく一般的なハードウェア上の特色によりご関心をお持ちであれば、むしろ、直接その文献を見られる方が適切と思う。

## 8. 結 言

この報告書では、OHPが職業訓練現場で有効に活用されるように、そのノウハウを中心にまとめてみた。関連の研究分野では、OHP、テレビなど視覚メディアの特性が基礎研究的に行われているが、職業訓練の改善に資するようなこれまでの研究成果は、また改めてノウハウ的にまとめてみることにしたい。

最後に、この報告書の作成にあたって適切なお助言をいただきまたご校閲下さった関係の方々に厚く御礼申上げたい。

調査研究資料 第87号

職業訓練におけるOHPの活用技術

発行 1988年3月

発行者 職業訓練研究センター

所長 多賀谷 敏夫

〒229神奈川県相模原市相原1960

電話 042-61-9911 (代)

印刷 (株) 港栄印刷

横浜市保土ヶ谷区西谷町914-1

電話 045-371-6800